

## 議 事

### I. 開会

- ・理事総数20名のうち17名の出席があり、定足数を満たすことから理事会が成立し、開会となった。
- ・議長：安河内聡理事長、議事録署名人：野村裕一理事、朴仁三理事

### II. 審議事項

#### 第1号議案：評議員更新審査について(総務委員会)：富田英理事

- ・現行の評議員更新申請は更新意思の確認と評議員会の出欠にて完結していたが、定款施行細則第9条6項および7項に基づいた更新要件を満たすことを書面で申請させ、審査を実施することが承認された。

#### 第2号議案：web site 運用規定案について(総務委員会)：富田英理事

- ・広報担当からweb site 運用規定案の提示があり、承認された。多領域専門職の会員も活用・閲覧しやすいよう工夫していく。

#### 第3号議案：コンベンション会社の公募案について(総務委員会)：富田英理事

- ・学術集会の運営を担当するコンベンション会社の入札について、3月の理事会において再審議の上で公募を行い、今年4月以後に業者選定のプレゼンテーションを行うこととなった。

#### 第4号議案：地方会新規申請・更新申請認定について(総務委員会)：富田英理事

- ・山陰小児循環器談話会の新規申請、若年者心疾患・生活習慣病対策協議会、岡山川崎病研究会、大阪小児循環器談話会の更新申請が承認された。

#### 第5号議案：旅費規程について(財務)：山岸敬幸理事

- ・一部修正の上、承認された。他学会学術集会時に開催される会議の旅費に関する事項の追加を検討することとなった。

#### 第6号議案：学術集会マニュアル改訂について(財務)：山岸敬幸理事

- ・学術集会マニュアルの8.経理の項の追記について提案があり、承認された。

#### 第7号議案：研究委員会補助規定について(財務)：山岸敬幸理事

- ・学術委員会の新たな研究委員会制度に関する補助規定について提案があり、一部修正の上、承認となった。

#### 第8号議案：研究課題申請について(学術委員会)：小山耕太郎理事

- ・同日の学術委員会にて新たな研究委員会課題申請に関する審査が実施され、その結果、課題Aで1件(学術委員として朴、先崎、白石委員が担当)、課題Bで8件(うち2件は修正の上、再提出を依頼)について承認された。

#### 第9号議案：ガイドラインについて(学術委員会)：小山耕太郎理事

- ・学術委員会副委員長の先崎秀明先生(埼玉医科大学総合医療センター)を中心にガイドラインの作成および整備を実施することが報告され、承認された。

#### 第10号議案：高尾賞について(学術委員会)：小山耕太郎理事

- ・高尾賞の規約の修正について学術委員会での検討結果が報告され、承認された。

#### 第11号議案：第7期専門医試験結果について(専門医試験委員会)：山岸敬幸理事

- ・昨年10月30日に実施された第7期専門医試験の結果について報告がされ、承認された。1月末に可否の連絡を行う。

#### 第12号議案：小児期心疾患実態調査の実施について(データベース委員会)：三谷義英理事

- ・調査項目については最終調整を行い、修練施設への周知準備を行っていくことが承認された。実態調査システムについては、2月末を目処に構築し、3月末までに予算を執行する。実態調査は2017年1月1日から12月31日までの期間で実施する。

#### 第13号議案：日本循環器学会との共催セッションの申請について：三谷義英理事

- ・再来年のジョイントセッションの申請を行うことが承認され、学術委員会にて具体的に審議することとなった。

#### 第14号議案：電子抄録アプリについて(編集委員会)：白石公理事

- ・電子抄録のアプリ(iPhone用、Android用)について、今後も継続して作成することが承認された。

#### 第15号議案：学術集会の英語抄録について(編集委員会)：白石公理事

- ・電子抄録の英語ページの追加について承認された。

#### 第16号議案：学会の治験推進について(保険診療/臨床試験委員会)：三浦大委員長

- ・臨床試験委員会の治験推進活動の取り決めについて、前回の理事会後の修正事項について提案があり、契約書に則り企業との契約を開始することが承認された。

第17号議案：医療事故調査等への外部委員派遣の手順(医療安全委員会)：鈴木孝明理事（代：安河内聡理事長）

- ・医療事故調査等への外部委員派遣の手順の修正について提案され、承認された。

第18号議案：利益相反委員会細則の変更について(利益相反委員会)：野村裕一理事

- ・日本医学会のCOIガイドラインの改訂に伴う「医学研究の利益相反に関する共通指針」の細則の変更について提案され、承認された。提出されたCOI申告書の確認方法については、次年度に向けて素案を作成していくこととなった。

第19号議案：2019年、2020年学術集會会会長立候補について：安河内聡理事長

- ・2019年の会長として住友直方先生(埼玉医科大学国際医療センター)、2020年学術集會会会長として山岸正明先生(京都府立医科大学)を、次回の総会へ理事会推薦することが承認された。

### III. 報告事項

<理事長報告>：安河内聡理事長

1. 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針等の改正に関するパブリックコメント提出について

- ・厚生労働省へ提出した「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」および「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」へのパブリックコメントについて報告がされた。

2. 「日本医学会連合研究会倫理委員会提言(案)」への意見提出について

- ・日本医学会連合より「日本医学会連合研究会倫理委員会提言(案)」への意見提出依頼があり、提出した意見について報告がされた。

3. JCS-循環器5カ年計画最終案について

- ・安河内聡理事長がリエゾン委員として参加した「JCS-脳卒中と循環器病克服5カ年計画」について報告がされた。

4. 選挙管理委員会委員について

- ・石井徹子先生(東京女子医科大学)、磯松尚幸先生(横浜市立大学)、中山智之先生(東邦大学)、福島裕之先生(慶應義塾大学)、増谷聡先生(埼玉医科大学総合医療センター)に委員を委嘱し、12月20日に開催された委員会にて福島裕之先生が委員長に選出された旨、報告がされた。

5. 日本医学会COI管理ガイドライン、診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンスについて

- ・日本医学会より「日本医学会COI管理ガイドライン、診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス」について意見提出依頼があり、利益相反委員会において纏められた意見を提出した旨、報告がされた。

6. EXCOR 保険償還点数改訂要望書について

- ・補助人工心臓治療関連学会協議会より EXCOR 保険償還点数改訂要望書への賛同依頼があり、理事長決裁によって賛同の回答をした旨、報告がされた。

7. 内保連・外保連合同内視鏡委員会委員推薦について

- ・内保連より、内保連・外保連合同内視鏡委員会の設立と参加依頼があり、理事長決裁によって同委員会への参加と黒崎健一先生(国立循環器病研究センター)を委員として推薦した旨、報告がされた。

<学術集會報告>

1. 第52回学術集會会計報告：小川俊一会長（代：深澤隆治事務局長）

- ・第52回学術集會の収支決算報告および監査終了報告がされ、1,059,144円を学会本部へ戻し入れた旨、報告がされた。

2. 第53回学術集會進捗状況報告：坂本喜三郎会長（代：田中靖彦事務局長）

- ・第53回学術集會について、演題募集の進捗等について報告がされた。海外招請者の講演については、日本語に翻訳したスライドも提示し、より多くの参加者を集めることを予定している旨、報告がされた。

<各委員会報告>

1. 総務委員会

1-1 会員動向について：富田英理事

- ・1月1日時点での会員数の動向について報告された。

正会員(医師)2,418名、正会員(医師以外)338名、名誉会員32名、特別会員61名、賛助会員3社

1-2 地方会実態調査の報告について：富田英理事

- ・地方会に対して実施したアンケートの結果報告がされた。

1-3 会計中期報告：山岸敬幸理事

- ・12月末日時点での一般会計、専門医会計の予算進捗について、一般会計については概ね順調に進んでいること、専門医会計については赤字予算だったが、受験者増により受験料・認定料収入が増えたため、収支ゼロに近い形が期待できる旨、報告がされた。また、第8回教育セミナーアドバンスコース幹事の三浦大先生(東京都立小児総合医療センター)から余剰金45万円の寄付があった旨、報告がされた。

#### 1-4 来期予算について：山岸敬幸理事

- ・2017年度予算の作成にあたり、各委員会へ事業計画と予算申請の提出依頼を行い、3月の理事会にて1次予算案を提示したい旨、報告がされた。

### 2. 学術委員会

#### 2-1 学術・国際交流委員会報告

##### 2-1-1 若手研究者交換留学について：小山耕太郎理事

- ・AHAへの派遣としてChildren's Healthcare of Atlantaへ留学中の松尾久実代先生(大阪府立母子保健総合医療センター)から現地レポートが提出された旨、報告がされた。AHAからの研修生については、現在AHAで募集されている。また、AEPCへの派遣として、L'hospital Neckerへ松尾諭先生(宮城県立こども病院)、University of Paduaへ喜瀬広亮先生(山梨大学)、Birmingham Children's Hospitalへ吉田修一朗先生(中京病院)が本年2月に派遣される予定であること、AEPCからの派遣として、Centro Hospitalar Lisboa OcidentalからDr. Duarte Martinsが長野県立こども病院へ留学し、既に研修を終えた旨、報告がされた。

##### 2-1-2 AEPC2017におけるジョイントセッションについて：小山耕太郎理事

- ・Multicenter Registries in Paediatric and Congenital Heart Diseaseというセッションで、市田路子先生(富山大学)と山岸敬幸先生(慶應義塾大学)が講演予定である旨、報告がされた。

##### 2-1-3 第53回学術集会におけるジョイントセッションについて：小山耕太郎理事

- ・第53回学術集会におけるジョイントセッションの招請案について報告がされた。

##### 2-1-4 WCPCCSにおけるジョイントセッションについて：小山耕太郎理事

- ・Management and treatment strategies for pulmonary regurgitation after Tetralogy of Fallot repairというセッションで、坂本喜三郎先生(静岡県立こども病院)と山岸正明先生(京都府立医科大学)が講演予定である旨、報告がされた。また、会場費として2950EURO(約36万円)の支払いに加え、ケータリング費用を今後支払う予定である旨、報告がされた。

##### 2-1-5 3か国フォーラムについて：小山耕太郎理事

- ・3か国フォーラムを日本が開催する際の基本的な方針案について報告がされ、学会からの助成金額については過去の開催時の費用および予定される招請者の人数から検討していくこととなった。

##### 2-1-6 AHA2017におけるジョイントセッションについて：小山耕太郎理事

- ・AHA2017におけるジョイントセッションについて、川崎病に関する提案書を提出し、石井正浩先生(北里大学)、尾内善広先生(千葉大学)、小林徹先生(国立成育医療研究センター)、津田悦子先生(国立循環器病研究センター)、三浦大先生(東京都立小児総合医療センター)、三谷義英先生(三重大学)を推薦した旨、報告がされた。

#### 2-2 教育委員会報告：鎌田政博理事

- ・学術集会時に開催された第13回教育セミナーおよび第8回教育セミナーアドバンスコースの収支決算の報告と、本年の教育セミナーの予定について報告がされた。また、教育講演関連については学会HPに集約を図ること、トップページの新着情報に教育関連のタブを追加することが報告された。

#### 2-3 多領域専門職委員会報告：日沼千尋委員長

- ・多領域専門職にも会長賞を設定するよう要望した旨と、多領域専門職に実施したアンケート結果について報告がされた。

### 3. 専門医制度委員会

#### 3-1 専門医制度委員会報告：土井庄三郎理事

- ・専門医更新申請状況、年次報告データベース内容の検討、日本循環器学会専門医制度委員会への参加、新専門医制度の動向について報告がされた。

### 4. データベース委員会

#### 4-1 心血管疾患の遺伝子疫学委員会報告：山岸敬幸理事

- ・研究活動として、長期疫学調査集計および短期研究課題3題のデータ集積・解析について報告された。また、2015年度の先天性心疾患サーベイランス・希少疾患調査結果が報告され、2016年度と同調査計画が示された。2016年度については、2015年と同じシステムで登録する予定。

#### 4-2 形態登録委員会報告：朴仁三理事

- ・第52回学術集会時における標本展示および講演について、カラーアトラス(仮称)作成開始について、「廃棄される先天性心疾患の部検標本」譲渡に関する法律上の問題点の検討について報告がされた。

### 5. 社会制度委員会

5-1 社会制度委員会報告：賀藤均理事

- ・指定難病に関わるべき学会の調査、小児慢性特定疾病診断に必要な遺伝子診断の保険収載希望のアンケート調査、指定難病の臨床調査個人票の最終確認依頼、小慢の医療意見書案を訂正・加筆への対応について報告がされた。

5-2 成人移行医療検討委員会報告：白石公理事

- ・昨年7月に開催した委員会での検討内容を踏まえ、小児循環器に特有な問題に特化して、担当者および関連グループを決めて2017年6月までに委員会提言を行う予定である旨、報告がされた。

5-3 蘇生科学委員会報告：太田邦雄委員長

- ・児童生徒（小中高生）の心原性院外心停止の人口レベルの全国登録研究結果、日本学校保健会「学校における心肺蘇生（AED）支援委員会」への参加、学校管理下AEDの管理運営に関するガイドライン作成について報告がされた。

5-4 男女共同検討参画委員会報告：岩本真理委員長

- ・日本医師会女性医師支援センター主催の「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」への出席と今後の学会としての取り組みについてメール審議がされている旨、報告がされた。

6. 学会雑誌編集委員会：白石公理事

- ・学会雑誌、ニュースレター、ケースチャレンジの発刊状況、英文雑誌および「小児循環器病学テキスト」の準備状況について報告がされた。

7. 医療安全委員会：鈴木孝明理事

- ・東京慈恵会医科大学附属病院医療安全管理部中央検査部の海渡健先生にチームステップスに関して講演を依頼し内諾を得た旨、報告がされた。

8. 保険診療・臨床試験委員会

8-1 保険診療・臨床試験委員会報告：三浦大委員長

- ・平成30年度の診療報酬改定に向けた提案準備、本学会を中心として治験推進計画、昨年の学術集会における臨床研究相談の実施について報告がされた。

8-2 薬事委員会報告：中川雅生委員長

- ・医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議への参加、治験の状況、臨床研究推進の啓発、小児循環器疾患治療薬適正使用に向けた啓発について報告がされた。

9. 臓器移植委員会

9-1 臓器移植委員会報告：福嶋教偉委員長

- ・全国心臓・肺移植患者の予備調査、移植医療推進活動、評議員に対する臓器提供体制整備状況に関するアンケート計画、小児心臓移植施設およびVAD施設の体制整備、CHDに対する心臓移植適応基準の検討について報告がされた。

9-2 人工臓器補助循環制度委員：小野稔委員長

- ・Berlin Heart EXCORの国内治験症例、認定施設、市販後装着症例の報告がされた。

10. 倫理委員会：山岸敬幸理事

- ・重症大動脈弁狭窄症に対する胎児治療の早期安全性試験について承認した旨、報告がされた。また、学術集会の演題登録画面に倫理指針を遵守している事のチェックボタンおよび倫理指針のリンク掲載、「日本医学会連合研究倫理委員会提言(案)」に対する意見を検討した旨、報告がされた。

11. 利益相反委員会：野村裕一理事

- ・COIに関するQ&Aの学会HPへの掲載、演題発表時のスライド改訂、「医学研究の利益相反に関する共通指針」の細則の変更案の検討、日本医学会からの「診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス」に対する意見依頼への検討について報告がされた。

IV. 閉会

- ・以上をもって議事が終了し、議長より閉会が宣言された。

以上